



第 121 回院内コンサート

日時 : 2025 年 11 月 15 日 (土) 14 時～

場所 : 亀田病院 新館待合ホール

♪ ♪ ♪ 演奏者プロフィール

やまぎし あやこ

チェロ : 山岸 彩子さん



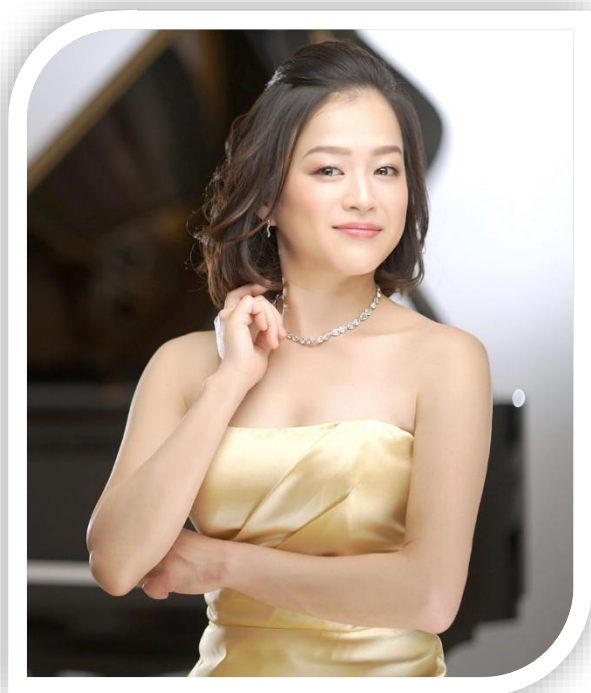
フェリス女学院大学音楽学部器楽学科チェロ専攻卒業。在学中、選抜され同大学管弦楽団と協演、学内特別マスタークラスを度々受講、室内楽演奏会・卒業演奏会に出演。成績優秀者に授与される奨学金を受賞。卒業後、ハンガリー国立リスト音楽院へ留学。同音楽院でのリサイタルの他、ブダペスト春の音楽祭や、イタリアのアルペ＝アドリア国際室内楽音楽祭に招聘され、ヨーロッパ各地の演奏会に出演。帰国後、ソリストとして神奈川フィルなどと協演する他、様々な演奏活動を行っている。チェロを藤村俊介、C.オンツァイ、菅野博文の各氏に師事。昭和音楽大学講師。一般社団法人横浜音楽文化協会会員。



なんぶ まり

ピアノ : 南部 麻里さん

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学卒業。同大学研究科修了。同大学卒業演奏会出演。第 10 回神奈川音楽コンクールをはじめ様々なコンクールで多数受賞。北島公彦、加藤伸佳、野島稔、三上桂子各氏に師事。2001 年よりハンガリーのリスト音楽院に留学。Szokolay Balasz、Zempleni Kornel 各氏のもとで研鑽を重ねる。04 年 9 月に帰国。その後、軽井沢国際音楽祭や PMF Pacific music festival にアーティストとして参加出演。現在、演奏活動とともに桐朋学園大学弦楽器嘱託演奏員、昭和音楽大学伴奏非常勤講師を務める。一般社団法人横浜音楽文化協会会員。





プログラム

♪ガヴォット第2番 Op. 23 より ポッパー作曲

ポッパーは19世紀後半を代表するチェリストで、技巧的かつ魅力的なチェロの作品を多く残しました。古典的なリズムにロマン派の華やかな旋律が重なり、親しみやすく軽やかな一曲です。

♪幻想小曲集 Op. 73 シューマン作曲

シューマン晩年の作品で、当初はクラリネットとピアノのために書かれたましたが、作曲者自身によりチェロによる演奏も想定されており、今日ではチェロ版も広く演奏されています。3つの小曲からなり、抒情的で内省的なメロディと即興的な雰囲気があり、チェロとピアノの繊細な対話も魅力です。

♪コル・ニドライ Op. 47 ブルッフ作曲

ユダヤ教の贖罪の日の前夜に唱えられる祈り《コル・ニドライ》（「全ての誓い」という意味）に基づいて作曲され、宗教的なルーツを持ちながら、音楽作品としては信仰を問わず人の心に訴えかける力を持っています。ブルッフはユダヤ人ではありませんが、ユダヤ音楽に強い関心を抱いており、敬意をもってこの作品を作曲しました。ユダヤの旋律をもとにしながら、西洋ロマン派の美しさと融合させた傑作です。

♪ハンガリー狂詩曲 Op. 68 ポッパー作曲

ポッパーの代表的な技巧作品のひとつで、ハンガリーの音楽にインスピレーションを得た情熱的な楽曲です。ポッパーはユダヤ系チェコ人ですが、ヨーロッパ各地を演奏旅行する傍ら、私達が勉強したハンガリーのリスト音楽院（当時はブダペスト王立音楽院）で約15年間教鞭をとり、その後もブダペストで活動을続けました。自由な構成の中で、哀愁を帯びた旋律や即興風なパッセージが展開され、チェロのあらゆるテクニックが詰め込まれた華やかな作品です。

お願い：許可のない動画・写真の撮影はご遠慮ください。

なお、感染症拡大の際にはコンサートが中止となる場合もございます。

次回、第122回院内コンサートは2025年12月20日（土）14時00分～